

2024 岩手県秋季陸上競技大会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、第3ゲート外側付近に設ける。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程を参照のこと。
- (3) 招集の方法
 - ①招集開始時刻に招集所で競技役員の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン・競技場内への持込物品などの商標の点検を受ける。トラック競技のみ、腰ナンバー標識を受け取る。
(※県外登録者のアスリートビブスは招集所で受け取ること)
 - ②携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる通信機器等を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ③代理人による最終点呼は認めない。多種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が「多種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。
 - ④欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出する。
 - ⑤招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなされ出場できない。
- (4) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- (5) リレー種目について
 - ①「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
 - ②一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。(競技規則 TE24.11)

3 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、折り曲げないでユニフォームの胸と背に確実に付けること。
但し、跳躍競技の競技者は、胸または背のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を受け取り、右後方に付けること。

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

5 競技について

- (1) トラック競技について
 - ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③短距離走では競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
 - ④競技規則 TR16.8 により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
 - ⑤トラック競技はすべてタイムレースとする。
- (2) フィールド競技について
 - ①跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1個だけサークルの外側に置くことができる。
 - ②棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を「アップライト申告書」に記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。なお、公式練習はゴムバーを使用する。
 - ③三段跳の踏切板は、砂場から男子 11m、女子 9mの位置に設置する。

- ④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑤フィールド競技の試技は3回とする。(走高跳、棒高跳を除く)
 - ⑥フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。
- (3) リレー競技について
- ①4×100mRの第2・3・4走者は、各自用意したマーカー(粘着テープ)を使用することができる。
- (4) 助力について
- ①競技規則TR6により、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリア内での助言については認める。録画映像を確認する場合は、競技者から視聴可能なコーチングエリア内とする。
また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴するために当該競技エリアから離脱する行為、文書をもって連絡することは認めない。
 - ②健康上に理由により、競技者に物品を渡す必要がある場合は、マーシャルその他の競技役員を通じて物品を渡すことができる。

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。
(但し、天候等の状況により変更することもある。)

種目	種別	練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m60/1m85	1m65 1m70 1m75 1m80 1m85 1m90 以降3cm
	女子	1m35/1m50	1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 以降3cm
棒高跳	男子	3m10/4m00/4m50	3m30 3m50 3m70 3m90 4m10 4m30 4m50 以降10cm
	女子	2m00/2m50/3m00	2m10 2m30 2m50 2m70 2m90 3m00 以降10cm

7 フィールド競技の計測について

フィールド競技では、下記の表に達しなくとも最初の有効試技を計測する。以後の試技で、前試技の距離または下記の記録に達しない場合は計測しない。(天候等の状況により変更することもある)

種別	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投げ
一般男子	5 m 4 0	1 1 m 0 0	1 0 m 0 0	2 5 m 0 0	2 5 m 0 0	3 5 m 0 0
高校男子			8 m 5 0	2 3 m 0 0	2 0 m 0 0	
中学男子			9 m 0 0	※※※※※	※※※※※	※※※※※
一般・高校女子	4 m 2 0	9 m 0 0	8 m 0 0	2 2 m 0 0	1 8 m 0 0	2 5 m 0 0
中学女子			9 m 0 0			

8 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
但し、投てき用具で持込を希望する場合は、各招集開始時刻までに持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を技術総務に持参して検査を受けるものとする。
検査に合格した「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、出場競技者間で共有できるものとし、競技終了後に「預かり証」を確認のうえ返却する。
- (2) 投てき競技の使用器具(重量)は次の通りとする。

種目	一般男子	一般・高校女子	高校男子	中学男子	中学女子
砲丸投	7.260Kg	4.000Kg	6.000Kg	5.000Kg	2.721Kg
円盤投	2.000Kg	1.000Kg	1.750Kg	※※※※※	※※※※※
ハンマー投	7.260Kg	4.000Kg	6.000Kg	※※※※※	※※※※※

(3) ハードルの高さは次の通りとする。

種目	規格	一般・高校男子	一般・高校女子	中学男子	中学女子
110mH	高さ	1.067m	※※※※※※	0.914m	※※※※※※
	インターバル	9.14m	※※※※※※	9.14m	※※※※※※
100mH	高さ	※※※※※※	0.838m	※※※※※※	0.762m
	インターバル	※※※※※※	8.50m	※※※※※※	8.00m
400mH	高さ	0.914m	0.762m	※※※※※※	※※※※※※
	インターバル	35.00m	35.00m	※※※※※※	※※※※※※

スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

(5) 競技用靴については、WAシューズ規則を適用し、規格外のシューズでの出場は認めない。

9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、正面玄関の掲示板とアナウンスで行う。
- (2) 抗議は、競技規則 TR8 に定められた時間内（アナウンス発表後 30 分以内）に競技者自身または代理人が担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金 1 万円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内に担当総務員に申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通じて伝える。

10 表彰について

各種目の上位 3 名に記録証を授与する。

11 カメラ及びビデオ撮影について

競技者が安心して競技に専念できるようにカメラ撮影制限エリアを設ける場合がある。盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向けて、撮影者に対しては、本大会役員より撮影データと身分証明の提出を求められる場合がある。

12 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。なお、取得した個人情報はプログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

13 練習会場の使用について

- (1) 練習は補助競技場で行い、事故防止には万全を期す。投てき練習は禁止する。
- (2) 補助競技場での練習は、7時30分から16時40分まで開放する。競走路使用については、(5)②のアウトレーンからの要領に準じる。
- (3) 第1運動場での投てき練習は、第1日目（11月3日・日）は砲丸投のみ、第2日目（11月4日・月・振）はやり投、円盤投の練習は認めるが、必ず監督・指導者の付き添いを必須とする。また、終了した種目の練習は禁止する。
- (4) 競技者が使用する練習用具は、すべて主催者が用意したものを使用し、練習用の個人の用具は練習会場に持ち込んではいならない。
- (5) 本競技場での練習は次の通りとする。
 - ① 朝の開放時間は7時30分から競技開始30分前までとする。
 - ② 競走路使用は原則として以下の通りとする。

[ホームストレート側]

- ・ 1～2レーン：中距離
- ・ 3～5レーン：短距離
- ・ 6レーン：中学女子100mH

[第1曲走路からバックストレート側]

- ・ 3～7レーン：短距離（リレー含む）
- ・ 8レーン：女子400mH
- ・ 9レーン：男子400mH

- ・ 7 レーン：一般高校女子 100mH
- ・ 8 レーン：中学男子 110mH
- ・ 9 レーン：一般高校男子 110mH

※ハードルの設置は、各種目実施日のみとし、ハードルの設置・後片付けは練習者が行う。

14 一般注意事項

- (1) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (3) 届けられた遺失物は、総務で保管する。
- (4) 「記録証明証」の発行を希望する場合は、役員係に 1 枚 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 提出書類は、次の通りとする。

No.	提出するもの	配布場所	提出場所	提出時刻
1	欠場届	招集所	招集所	招集完了時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	招集所	1種目目の招集時
3	リレーオーダー用紙	招集所	招集所	第1組目の招集完了時刻1時間前まで
4	アップライト申告書	招集所	招集所	招集時
5	投てき用具検査申請書	総務	技術総務	招集開始時刻まで
6	上訴申立書 (預託金1万円)	総務	担当総務員	競技規則第TR8による
7	記録証明証交付願	役員係	役員係	競技成績確定後随時(500円)

- (6) 大会会場への横断幕は1団体1枚、のぼり旗は2枚以内とする。横断幕を設置する場合は、各スタンド最上部のフェンスに通路や座席をふさがないようにひもで固定すること。のぼり旗はサイド・バックスタンドの最上部に設置すること。なお、掲揚ポールの使用や会社名・事業所名が入り第三者の事業活動の促進の効果を有すると判断されるもの、個人名入り、その他これに類するものの設置は禁止する。
- (7) ゴミは各自、毎日終了時に持ち帰ること。
- (8) 個人情報保護の観点から大会の映像・写真等、個人情報に関わる内容についてインターネット等への掲載は禁止いたします。